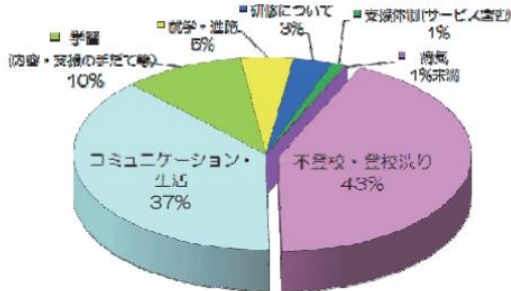


地域支援センター「サポートJOYO」



不登校、不適應への支援を中心に



〈相談内容の内訳〉

本センターでは、発達障害等を背景とする不登校や心理的課題に対する相談支援に力を入れてきました。相談総数の半数が不登校であり、そのほとんどが発達障害の二次障害です。病弱教育部をはじめとする本校の専門性を生かし、隣接する京都都病院等の医療との日常的な繋がりのもと、学校や関係機関と連携しながら、子どもや保護者の思いを大切に、より良い支援の方法を相談しています。

相談支援の実際



**保護者相談
並行して
本人への支援**

不登校経験が長いため、外に出かけること自体に抵抗が大きくなってしまったケース。

2週間に1回定期的に、保護者相談と並行して本人への支援。カレンダーや名刺作りなど、楽しみにできる活動に取り組む。発達検査の結果を本人に伝える中で、自己認知を促すよう支援。

保護者の一貫しない対応により、不適應を起こしていたケース。

ペアレント・トレーニングに取り組む中で、母親が子どもの良いところに注目できるようになる。また、共通の悩みを持つ保護者同士のつながりもでき、ピアカウンセリング効果が見られた。

ペアレント・トレーニング



不登校の背景 「読み書きの苦手さ」への支援

↓
再登校へ



小学校で、早期に、本児に合わせた指導を受けられるようになったことで、保健室を拠点にしながら、毎日登校できるようになったケース。

小学5年生から、突然不登校。小学校では、母親の愛情不足が問題と判断されていたが、専門医への受診や発達検査などをする中で、自閉症と「読み書きの苦手さ」を併せもつことがわかる。小学校での校内取り出し指導につながる。

研修支援も行なっています

特別支援教育研修会 平成25年7/26(金)
文化パーク城陽(ふれあいホール)にて
講師 有賀やよい氏(精神科医師、本校校医)

不登校支援研修会 平成25年11月予定
城陽支援学校にて
不登校事例に基づいた研修会

城陽支援学校の所在地

